

令和元年度  
議 会 報 告 会  
(『議会だより』抜粋資料)

都 留 市 議 会

平成30年6月定例会

おもな事業内容

# 市長の所信表明

## ○都留市立病院における産科分娩の再開

平成31年2月から都留市立病院において分娩の取り扱いを再開することが決定しました。

今後は、再開に向けた諸準備を更に加速していきます。また、妊婦健診時から山梨赤十字病院及び山梨大学医学部と情報を共有することで、高齢出産などハイリスクな出産については、最適な施設で分娩を可能とするなど、適切なリスク管理を行える体制の構築を図り、万全の体制をもって分娩が再開できるよう準備を進めていきます。

## ○セーフコミュニティへの取り組み宣言

市制施行64周年記念式典において「セーフ

コミュニティ」への取り組みを開始することを宣言しました。これはWHO（世界保健機関）が推奨し「国際セーフコミュニティ認証センター」が認証する世界的な取り組みです。

これまで各地域が取り組んできた、交通安全対策や防災活動、高齢者のための健康対策などの事業を、科学的な手法を用いて分析し、地域、行政、警察、家庭、学校などの安全・安心に関わるさまざまな分野が、協働・連携のもとで進めることにより、これまで以上に「地域の誰もがいつまでも健康で幸せに暮らせるまち」を目指します。

## ○第6次都留市長期総合計画中期基本計画の策定

第6次長期総合計画は、より取り組みの効果を高めるために、その基本計画を、前期、中期、後期の3期に分けています。

その前期基本計画が、本年度をもって終了するため、中期基本計画の策定作業に取り掛かっています。今後の作業の中で、市民の方々と市職員によるワーキンググループの組織や、ふれあい集会の開催、パブリック・コメントの活用などを通じて、多くの意見を反映させた計画づくりを進めていきますので、策定作業への積極的なご参画をお願いします。

## ○観光振興

平成の名水百選に選定されている、「十日市場・夏狩湧水群」の拠点として整備を図り、湧水箇所を

巡る散策ルートの出発点となるよう、景勝地である「田原の滝」に隣接する市有地を活用して整備した「田原の滝公園」がこのたび完成しました。

公園内には、展望台、駐車場、公衆トイレや富士湧水の湧き出でる姿をイメージした水のオブジェ、また、外国語に対応した案内板を設置しています。

公園内の展望台から望む、間近に迫る「田原の滝」の勢いよく滝つぼを打つ景観はまさに絶景です。

## ○公立小学校・中学校の適正規模・適正配置

人口減少が進行している市町村では、公立小・中学校の適正規模・適正配置が大きな検討課題となっています。

教育的な観点のみならず、地域の様々な事情を総合的に考慮しなければならない、大変デリケートかつ困難な課題であることから、学校教育の直接的な受益者である児童生徒の保護者の声を重視しつつ、地域住民の十分な理解と協力を得るなど「地域とともにある学校づくり」の視点を踏まえた丁寧な議論を行うことが重要となります。

本市ではこのたび、「学校規模等適正化等準備会」を設置して、改めて現状の把握をし、課題等の情報を共有し、調整しながら、本市としての方向を決定する「審議会」の設置に向けた準備をしていきます。

## ○リニアと翔る都留ロードレース大会

11月18日の日曜日に第3回大会を開催します。

今回は、一般男女を39歳以下、40歳代、50歳代の男女別に区分けして、競技種目を増設し、参加しやすくするとともに、新たな試みとして、この大会の特徴でもある、激坂を目玉とする10キロコースにおいて、川茂保育園前を通過する500mの勾配のきつい激坂の区間を計測し、完走者の中から上位者を表彰することとしました。

## 総務産業建設

## 常任委員会

6月20日午前10時から

委員長 山本 美正 副委員長 小俣 義之

## ■審査した議案（付託議案）

- ・議第47号 都留市都市公園条例中改正の件
- ・議第48号 指定管理者の指定の件  
(下谷交流センター)
- ・議第49号 公立大学法人都留文科大学が徴収する料  
金の上限の定めの変更の認可に関する件
- ・議第50号 市道の路線の認定及び廃止の件
- ・請願第2号 都留市各機関における非行政書士行為排  
除の徹底を求める請願

委員会では、◎下谷交流センターの整備の経緯につ  
いて、◎転学部・転学科検定料の他の大学の現状につ  
いて、などの質疑があり、慎重に審査した結果、付託議案の全

てを原案可決としました。請願第2号については「採択」  
すべきものとしました。

## 社会厚生

## 常任委員会

6月20日午後1時30分から

委員長 藤江 喜美子 副委員長 日向 美徳

## ■審査した議案（付託議案）

- ・議第46号 都留市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例中改正の件

委員会では、◎本条例の改正目的と支援員の資格取得の  
要件となる免許状の種類について、◎支援員の資格取得  
に係る補助員の学歴と経験年数の考え方について、◎支  
援員の採用に関する市の係わり方について、◎現在の支

援員における資格取得状況について、◎現在の支援員等  
に関する保護者へのアンケートなどの実施について、な  
どの質疑があり、慎重に審査した結果、付託議案の全て  
を原案可決としました。

6月定例会  
会期日程

◆ 6月7日 本会議

(開会)

◎会議録署名議員の  
指名

◎会期の決定

◎提出議案の市長説  
明並びに所信表明

◎議案審議

◎議案及び請願の  
委員会付託

◆ 6月18日 本会議

◎一般質問

◆ 6月20日

総務産業建設常任  
委員会  
社会厚生常任委員会

◆ 6月22日 本会議

◎委員長報告

◎議案審議

(閉会)

## 各会議等における議員の欠席日数状況報告

(H30.4月～H30.6月)

|      |           | 志村<br>武彦 | 小林<br>健太 | 日向<br>美徳 | 天野<br>利夫 | 奥秋<br>保 | 山本<br>美正 | 小澤<br>眞 | 板倉<br>保秋 | 藤江<br>喜美子 | 藤本<br>明久 | 鈴木<br>孝昌 | 谷垣<br>喜一 | 国田<br>正己 | 小俣<br>義之 | 小俣<br>武 | 小林<br>歳男 |
|------|-----------|----------|----------|----------|----------|---------|----------|---------|----------|-----------|----------|----------|----------|----------|----------|---------|----------|
|      |           | 本 会 議    | —        | —        | —        | —       | —        | —       | —        | —         | —        | —        | —        | —        | —        | —       | 3        |
| 人事案件 | 常 任 委 員 会 | —        | —        | —        | —        | —       | —        | —       | —        | —         | —        | —        | —        | —        | —        | —       | 1        |
|      | 特 別 委 員 会 | 2        | —        | 1        | —        | —       | 1        | —       | —        | 1         | —        | —        | —        | —        | —        | —       | 1        |
|      | 全 員 協 議 会 | —        | 1        | —        | —        | —       | —        | —       | —        | —         | —        | —        | —        | —        | —        | —       | 3        |
|      | 議 員 研 修   | —        | —        | —        | —        | —       | —        | —       | —        | —         | —        | —        | —        | —        | —        | —       | —        |

6月22日の本会議で、固定資  
産評価員の選任について議案が  
上程され、満場一致で同意され  
ました。

固定資産評価員

○鹿 留 志村 元康



平成30年9月定例会

おもな事業内容

# 市長の所信表明



下谷地区の単独型居住プロジェクト サービス付き高齢者向け住宅イメージ図

## ○第6次都留市長期総合計画中期基本計画の策定

市民の皆様との協働による計画づくりを策定の方針とし、ワーキンググループとして市民メンバーの公募を行ったところ、都留文科大学の学生を始めとした6名の市民に参画いただきました。現在、市役所の若手職員との合同により、研修を兼ねての意見交換などを踏まえ、精力的に案の策定作業を進めています。

## ○セーフコミュニティへの取り組み

本市におけるセーフコミュニティの方針の決定・計画の承認を行う推進母体となる「都留市セーフコミュニティ推進協議会」を9月に設立、10月には地域の重点課題に対して「安全・安心」への取り組みを実施する対策委員会を設立し、「地域の誰もがいつまでも健康で幸せに暮らせるまち」を目指し、セーフコミュニティの認証に向けた取り組みを更に推進させていきます。

## ○ブロック塀等撤去促進事業費補助金

「大阪府北部地震災害」で過去に設置された耐震性の低いブロック塀などの倒壊による危険性が再認識されました。本市の重要施策である「セーフコミュニティ」を推進していくうえでも、これらの災害を未然に防止するためこの補助金を創設し、危険性のあるブロック塀などの撤去を行うものに対して支援していきます。

## ○小中学校のエアコンの設置

平成32年度から実施していく計画となっていますが、今年7月から8月にかけて、災害ともいえる記録的猛暑に襲われており、さらに、この状況は来年度以降も続く可能性も指摘されていることから、国の財政支援の動向も注視する中、児童生徒の健康を守るためにも計画を前倒しして対応できるよう準備を進めていきます。

## ○生涯活躍のまち・つる事業

下谷地区の単独型居住プロジェクトでは、運営事業者により、サービス付き高齢者向け住宅への改修準備が進んでいます。田原地区の複合型居住プロジェクトについては、地方創生の推進の大きな柱となる「産官学金労言」での連携、協働の趣旨を踏まえ、関係する様々な方々と協議検討を重ねた上で、年度内には公募要件などを定めていきます。

移住してくる方々だけでなく、このまちに住むすべての人にとって、「豊かな暮らし」につながる持続可能なまちづくりへの取り組みを実施していきます。

## ○健康づくり事業

新たな持続性のある健康づくり事業として、「いきいき動かし隊」事業を始めました。

この事業は、タニタ食堂や健康測定機器などでおなじみのタニタグループの株式会社タニタヘルスリンクと連携して、特定健康診査などの結果から生活習慣病のリスクが高い方を対象とし、活動量計や体組成計などを活用しながら、「運動」や「食」を中心とした健康づくりに参加することで、その成果を見える化し、楽しみながら健康的な生活習慣を実践できる健康支援プログラムを展開するものです。

さらに、保健師や管理栄養士による個別保健指導も受けられ、既存の健康づくりポイント事業による健康ポイント手帳へのポイントも付与されるなど、楽しく続けられる健康づくり支援プログラムとなっています。

9月  
定例会

# 各委員会の審査内容と結果

## 総務産業建設

### 常任委員会

9月12日午前10時から

委員長：山本 美正 副委員長：小俣 義之

#### ■審査した議案（付託議案）

- ・議第54号 都留市職員定数条例中改正の件
- ・議第56号 市道の路線の認定の件
- ・議第57号 平成30年度都留市一般会計補正予算（第1号）
- ・議第59号 平成30年度都留市下水道事業特別会計補正予算（第1号）

本委員会では、

- ・都留市職員定数条例改正により増員となる消防職員に関し、救急出場件数等の現状と傾向について
- ・ブロック塀等撤去促進事業補助金における一件当たりの

金額と想定する件数について

- ・同補助金の市民への周知及び啓蒙における市の考え方について、などの質疑があり、慎重に審査した結果、付託議案の全てを原案可決としました。

## 社会厚生

### 常任委員会

9月12日午後1時30分から

委員長：藤江 喜美子 副委員長：日向 美徳

#### ■審査した議案（付託議案）

- ・議第55号 都留市税条例等中改正の件
- ・議第57号 平成30年度都留市一般会計補正予算（第1号）
- ・議第58号 平成30年度都留市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）
- ・議第60号 平成30年度都留市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）
- ・請願第3号 教職員定数改善、少人数学級推進、及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願

本委員会では、

- ・都留市税条例の改正に伴い、個人市民税の非課税範囲と所得控除の改正内容について、などの質疑があり、慎重に審査した結果、付託議案の全てを原案可決としました。

次に、請願第3号については「採択」すべきものとなりました。

※議第57号平成30年度都留市一般会計補正予算（第1号）は、それぞれの常任委員会で所管する補正予算案を分けて審査します。

## 決算特別

### 委員会

9月13日・14日・18日 午前10時から

委員長：谷垣 喜一 副委員長：天野 利夫

#### ■審査した議案（付託議案）

- ・認題1号 平成29年度都留市各会計歳入歳出決算認定の件
- ・認題2号 平成29年度都留市水道事業会計決算認定の件
- ・認題3号 平成29年度都留市病院事業会計決算認定の件
- ・本市の保育士に対する報酬額と近隣他市との比較による本市の考えについて
- ・高校生等就職支援資格取得補助金の対象となる資格内容と資格取得状況の詳細について
- ・橋梁長寿命化修繕計画による修繕完了予定時期と今後の見通しについて
- ・市内小中学校への防犯カメラ設置状況と今後の設置に向けた本市の考えについて
- ・20年後の成人式による市外からの参加者に対する本市のPR活動内容と民法改正により成人年齢が18歳となることによる20歳成人式の今後の本市の考えについて
- ・本市における生活保護世帯数及び保護率の現状と国・県や県内他市との比較による本市の考えについて
- ・介護保険事業特別会計の一般介護予防事業における不用額の主な要因について

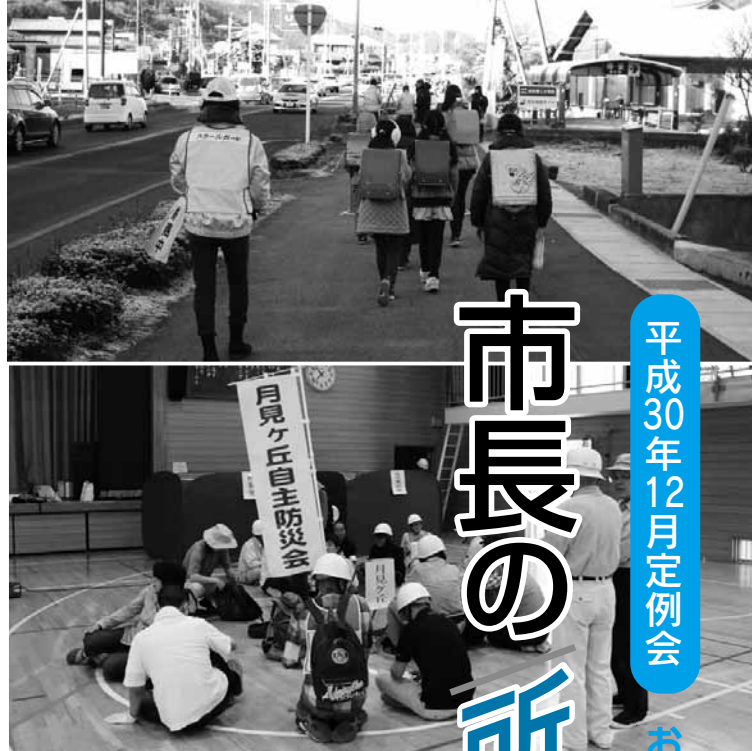
本委員会では、

- ・地方公会計の統一的な基準に基づく財務書類の作成による、本市財政に対する新たな課題と問題点等について
- ・生涯活躍のまち・つる事業における複合型居住プロジェクト事業用地購入費の詳細について
- ・特定空き家等に対する各種委員会の開催状況と特定空き家の現状と今後の対策について
- ・本市における生活保護世帯数及び保護率の現状と国・県や県内他市との比較による本市の考えについて
- ・介護保険事業特別会計の一般介護予防事業における不用額の主な要因について





都留市セーフコミュニティ啓発マーク



# 市長の所信表明

平成30年12月定例会

おもな事業内容

## ○第6次都留市長期総合計画「中期基本計画」の策定

「第6次都留市長期総合計画終了年次に3万人の人口を維持する」という目標を実現するために、どのような条件が必要なのかを共有・把握し、その上で必要な具体的手立てとして実行性の高い中期基本計画となるよう、11月に設置した「都留市長期総合計画審議会」で協議を進めていき、年度内の策定を目指します。

## ○生涯活躍のまち・つる事業

10月に、内閣官房まち・ひと・しごと創生本部の交付金チームや生涯活躍のまち形成支援チームが視察のため本市を訪れました。

本市のこの事業に対する取り組み方や考え方は、先行事例となりうるものであり、いよいよ下谷の単独型居住プロジェクトがスタートするので、国としても全面的に支援していきたいという力強い言葉をいただきました。

この単独型居住プロジェクトでは、12月よりサービス付き高齢者向け住宅への改修工事が着手されたところであり、来年夏の完成に向けた準備が加速するものと考えています。

## ○セーフコミュニティ本格的にスタート

9月に設立した、都留市セーフコミュニティ推進協議会において6つの「重点課題」を決定し、10月にはこの課題ごとに、「防災・減災対策委員会」、「交通安全対策委員会」、「防犯対策委員会」、「高齢者の

安全対策委員会」、「親と子の安全対策委員会」、「心の健康対策委員会」を立ち上げ、11月には、これらの対策委員会の情報収集や評価・分析を行う「都留市外傷サーベイランス委員会」を設置しました。認証を受ける上で必要な組織がすべて整い、本格的に取り組みが始まります。

## ○西桂町との公共施設の相互利用

本市と西桂町において、「公共施設の相互利用に関する協定」を締結し、11月1日から西桂町所有の三ッ峠グリーンセンターの温泉施設、コテージ、テニスコート及びフットサル場など9施設を西桂町民と同じ条件、同じ料金で都留市民も利用出来るようになりました。

併せて、西桂町の皆様には、本市の健康ジムや芭蕉月待ちの湯など、11施設を活用していただけたこととしました。

## ○市内の7郵便局と包括連携協定を締結

連携事項は、「安心・安全な暮らしの実現」、「未来を担う子どもの健全育成」、「本市の魅力の発信」、「地域コミュニティの活性化」、「災害対策」、「人口減少対策」、そして、「生涯活躍のまち・つる」及び「セーフコミュニティの推進に関すること」などとし、市内の7郵便局を活用した、市のお知らせ、イベント情報等の広報、また、圏域となる南関東支社のネットワークを活用した観光PRと移住先としての情報発信、地域の見守りなど、幅広い分野において連携ができるものです。

## ○小中学校のエアコンの設置

政府により一年限りで新設された「ブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金」による内示を受け、来年度のできる限り早い時期に設置が完了できるよう、各学校と調整を行いながら整備していきます。

12月  
定例会

# 各委員会の審査内容と結果

## 総務産業建設

### 常任委員会

12月19日午前10時から

委員長 山本美正 副委員長 小俣義之

#### ■審査した議案（付託議案）

- ・議第65号 都留市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例中改正の件
- ・議第66号 市道の路線の認定の件
- ・議第67号 平成30年度都留市一般会計補正予算(第3号)
- ・議第68号 平成30年度都留市簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)
- ・議第69号 平成30年度都留市下水道事業特別会計補正予算(第2号)
- ・議第70号 平成30年度都留市盛里財産区特別会計補正予算(第1号)
- ・請願第4号 核兵器禁止条約の日本政府の署名と批准を求める意見書採択についての請願
- ・請願第5号 治安維持法犠牲者国家賠償法(仮称)の制定を国に求める請願

委員会では、

- ・選挙運動用ビラ作成の公費負担となる当該ビラの規格及び内容確認の有無について
  - ・地域おこし協力隊の住居に関し、空き家を活用するなどとした本市の考えについて、などの質疑があり、慎重に審査した結果、付託議案の全てを原案可決としました。
- 次に、請願についてはいずれも継続審査すべきものとなりました。



## 社会厚生

### 常任委員会

12月19日午後1時30分から

委員長 藤江喜美子 副委員長 日向美徳

#### ■審査した議案（付託議案）

- ・議第67号 平成30年度都留市一般会計補正予算(第3号)

委員会では

- ・債権回収特別対策費に関し、増員となる職員の勤務体系と職務内容について、
- ・生活保護申請時の資産の処分状

況などについて、などの質疑があり、慎重に審査した結果、付託議案の全てを原案可決としました。

※議第67号 平成30年度都留市一般会計補正予算(第3号)は、それぞれの常任委員会で所管する補正予算案を分けて審査します。

◆ 12月21日 閉会  
◎ 本会議  
◎ 委員長報告  
◎ 議案審議

◆ 12月19日 常任委員会  
◎ 総務産業建設  
◎ 社会厚生  
◎ 常任委員会

◆ 12月17日 本会議  
◎ 一般質問

◆ 12月6日 開会  
◎ 本会議  
◎ 会議録署名議員の指名  
◎ 会期の決定  
◎ 提出議案の市長説明並びに所信表明  
◎ 議案審議  
◎ 議案・請願の委員会付託

12月定例会  
会期日程

平成31年3月定例会

おもな事業内容

# 市長の所信表明



下谷地区の単独型居住プロジェクト  
サービス付き高齢者向け住宅イメージ図

## ○第6次都留市長期総合計画

平成31年度を開始年度とする中期基本計画が始まります。

この新計画が、本市の地域・事業者などが抱える課題を乗り越えるための共通マニユアルとなるよう期待し、発展的な市政運営に努めていきます。

## ○生涯活躍のまち・いる事業

下谷地区の単独型居住プロジェクトでは、サービス付き高齢者向け住宅に改修する工事が本年夏に完了する予定です。

これに伴い、入居者の第一次募集が1月15日より開始されたところであり、45戸47名の申し込みがあったと事業者より聞いています。

また、田原地区の複合型居住プロジェクトについては、実施事業者を募集するための公募要件等を年度内には定めていきたいと考えています。

## ○子育て支援の推進

平成31年度からは、携帯電話のスマートフォンを活用し、子育て情報の配信や電子母子健康手帳機能、予防接種管理機能などを備えた「子育て支援アプリ」の導入と利用促進のための普及啓発を図っていきます。

さらに、育児に不安等がある産後4か月までの母親とその乳児を対象とした「都留市産後ケア事業」への費用助成要綱を制定し、県内トップレベルの支援を行っていきます。

## ○市営住宅等に入居する新婚世帯、子育て世帯に対する支援

新婚世帯や子育て世帯を対象とした、「市営住宅等新婚子育て世帯家賃助成金制度」を創設し、若年層の本市への定住、移住を促進し、人口の確保と定住化を図ることで、活力のあるまちづくりを推進していきます。

## ○障がい者基幹相談支援センター設置

4月から「いきいきプラザ都留」福祉課内に「障がい者基幹相談支援センター」を設置します。

基幹相談支援センターとは、障害者総合支援法に基づき、障害の種類や障害者手帳の有無にかかわらず、相談者に対して必要な支援などの情報提供や助言を総合的に行う機関です。

本市での当センター設置により、地域における総合的で専門的な支援体制のさらなる強化が図られるものと考えます。

## ○観光の振興

平成29年度から外国人を対象としたモニターツアーを5回開催したところ、参加者からは雄大な自然の中でも歴史ある城下町として育まれた人の営み、人の魅力がある土地であると、高い評価をいただきました。

さらに来年度は、八王子市、あきる野市、相模原市、大月市と「高尾山・リニア地区」の5市と連携を図る中で、広域的な周遊ルートの開発や効果的なプロモーション活動、及び成田国際空港でのイベントを展開するなど、本市への外国人観光客の誘客に努めるなど、国内外からの集客を図る着地型の観光振興を推進していきます。

## ○教育首都の推進

小中学校への空調設備設置工事については、4月から着手する予定となっています。設置に係る工期など非常にタイトなものとなっていますが、できる限り早い時期に設置ができるよう、各学校と調整を行いながら整備していきます。

さらには、「新学習指導要領」の2020年度の全面実施に向け、主体的、対話的で深い学びを掲げる学習指導に移行していくなど、「教育首都つる」の実現に向けて、より一層の教育行政を推進していきます。



3月  
定例会

# 各委員会の審査内容と結果

## 総務産業建設

### 常任委員会

3月13日午前10時から

委員長 山本 美正 副委員長 小俣 義之

#### ■審査した議案（付託議案）

- ・議第1号 都留市職員の配偶者同行休業に関する条例制定の件
- ・議第2号 都留市森林環境基金条例制定の件
- ・議第6号 都留市水道事業給水条例中改正の件
- ・議第22号 平成30年度 都留市一般会計補正予算（第4号）

本委員会では、  
付託された上記の議案について慎重に審査した結果、いずれの議案も原案可決としました。次に、継続審査となっ

ていた請願第4号及び請願第5号については、採決の結果、「不採択」すべきものとなりました。

## 社会厚生

### 常任委員会

3月13日午後1時30分から

委員長 藤江 喜美子 副委員長 日向 美徳

#### ■審査した議案（付託議案）

- ・議第3号 都留市小中学校適正規模等審議会条例制定の件
- ・議第4号 都留市職員定数条例中改正の件
- ・議第5号 都留市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例中改正の件
- ・議第7号 都留市学校給食センター設置条例中改正の件
- ・議第22号 平成30年度 都留市一般会計補正予算（第4号）
- ・議第23号 平成30年度 都留市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）

本委員会では、  
・小中学校適正規模等審議会条例制定に伴い審議会からの答申後における市としての対応とスケジュールについて  
・来年度、各小学校へ入学する児童数の状況と、今後予想される複式学級などへの市の対応について  
・放課後児童健全育成事業における施設整備の方向性と今

後の計画について  
・学校給食センター設置条例の改正に伴い給食対象校以外の学校に対する今後の方向性と市の考えについてなどの質疑があり、慎重に審査した結果、付託議案の全てを原案可決としました。

※ 議第22号平成30年度都留市一般会計補正予算（第4号）は、それぞれの常任委員会で所管する補正予算案を分けて審査します。

## 予算特別

### 委員会

3月14・15・18日午前10時から

委員長 谷垣 喜一 副委員長 志村 武彦

#### ■審査した議案（付託議案）

- ・議第8号～議第19号  
平成31年度都留市各会計予算
- ・認題20号 平成31年度都留市水道事業会計予算
- ・認題21号 平成31年度都留市病院事業会計予算

本委員会では、  
・防災行政無線デジタル化整備における難聴世帯の状況とその対策について  
・移住・定住促進事業における移住・定住世帯への奨励金などの拡充について  
・本市の財政指標等を鑑み自主財源の確保と市債残高の減少など今後の市の考えについて  
・井倉区画整理事業地に対する固定資産税額について

- ・交通安全施設設置事業における曇らないカーブミラーへの改修予定について
- ・プレミアム付き商品券事業における商品券発行に関する詳細内容について
- ・保育所管理費における保育士の処遇改善状況と、施設整備の今後の方向性について
- ・高収益作物導入事業に関し、桃・ブドウなどの都留市ならではの品種の導入について
- ・公営企業会計制度推進事業における公営企業会計システムの概要とシステム構築までの期間について
- ・各体育施設管理運営事業におけるグラウンド・広場などのトイレの洋式化状況と今後の予定について

その他多くの質疑があり、慎重に審査した結果、付託議案の全てを原案可決（議第8号については起立採決）としました。

## 議会改革特別委員会

### ◎議会報告会

平成30年6月29日から8月6日にかけて、市内各地域にて議会報告会が開催され、前年度に比べ、参加率が約150%上がっているという結果であった。また、上谷地区、中谷地区、東桂地区においては、プロジェクトを利用して、市民の方に見やすいような工夫がされている。今後、更なる充実を図っていく。



市民の方にわかりやすいよう、プロジェクターを利用した議会活動の報告

## 山梨県後期高齢者医療広域連合

### ◎平成30年第2回定例会

副議長選挙が行われ、昭和町選出の三井猛氏が指名推薦にて当選した。また、平成29年度一般会計歳入歳出決算及び特別会計歳入歳出決算の2件が認定され、山梨県後期高齢者医療広域連合保険事業等支援基金条例の制定、平成30年度一般会計補正予算及び特別会計補正予算が可決された。

### ◎平成31年第1回定例会

議会運営委員会委員の選任が行われた。また、後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例が制定され、平成30年度一般会計及び特別会計補正予算、並びに平成31年度一般会計及び特別会計予算が可決された。

最後に金丸連合長より、退任の挨拶があった。

## 大月都留広域事務組合議会

### ◎新ごみ処理施設広域化の動向について

課題となっている、中津森計画の事業費圧縮の検討に加え、各市町村において新たな候補地の存否を確認す



まるたの森クリーンセンター

るなど検討を継続するべく、山梨県の支援も求める中、新たな広域化の検討組織を発足させることとし、進展を図っている。

### ◎焼却施設基幹的設備改良事業

現焼却施設設備・機器類の更新及び修繕を実施するもので、平成29年7月に着工し、平成31年1月現在で全体工程のうち50%の進捗状況となっている。

また、協定期限を平成41年11月とする、初狩地区との10年間の協定期間延長は、30年4月に開催された「初狩町ごみ焼却環境運営協議会」の総会で議決されており、締結に向けて調整を進めている。

### ◎田野倉地区環境整備

田野倉地区環境整備協議会とのし尿処理施設の協定期間は平成31年3月までとなっているため、期間延長に向けた協定書締結に向けて取り組んでいる。(3月25日に調印式が行われ、運転期間の延長についての協定が締結された)

## 山梨県東部広域連合議会

### ◎7月定例会

平成30年度一般会計補正予算(第1号)及び山梨県東部地域公平委員会委員の選任の同意の審査を行い、原案のとおり可決及び同意された。

### ◎11月定例会

平成29年度一般会計歳入歳出決算認定について審査を行い、原案のとおり認定された。

### ◎2月定例会

山梨県東部広域連合職員給与条例の一部を改正する条例の専決処分が承認され、平成30年度一般会計補正予算(第2号)及び平成31年度一般会計予算の審査を行い、原案のとおり可決された。また、大鶴楽生園が廃園となったことに伴い、今後は新たな広域行政事務を取り入れることと併せて、東部広域連合のあり方についても検討していく必要があるとの意見が出された。

【MEMO】

[illegible]



# 議員視察研修～

今年度は2班に分かれて  
研修を行いました。  
それぞれの概要は次のとおりです。

## 研修内容

(1) 平成30年7月31日(火)

### 先駆的空き家対策 モデル事業

〔京都府京丹後市〕

京丹後市の独自の実態調査として平成27年度に全地区の区長を対象に行った空き家等のアンケート調査では、活用可能なものが563件、管理不全なものが192件、計755件の空き家を確認した。管理不全なもののうち、建物の倒壊の可能性がある空き家が49件、そのうち倒壊等により周辺への影響の可能性があるものが36件となっており、早期の対応が必要な状況にあった。

この「先駆的空き家対策モデル事業」は、平成29年度に策定した空き家等対策計画に示す、管理促進及び空き家等流通の活性化の取組みとして、「相続登記の促進」と「相続財産管理人制度を活用した流通促進」の2つの事業を実施している。

## 研修を終えて

本市においても人口減少に伴い、空き家の増加が懸念されている。今後、体制も含めて事業強化が求められており、どうしたら空き家を出さずにすむか、また、空き家を早期に見つけ、どのように対応するのか、さらには空き家の活用を大きく前進させるためにはどのようなことができるのかなど、今回の京丹後市における事業を参考とし、取り組みが望まれるところである。

本年度、富士見台自治会が、市の補助制度を活用し、「空き家リフォームした集会所」として利用することとなった。今後は、この制度をさらに拡大し、個人利用なども可能となるよう検討していくことも必要と思われる。

## 研修内容

(2) 平成30年7月31日(火)

### 窓口業務一部民間 委託

〔福井県小浜市〕

市民サービスの一層の向上



小浜市での研修 実際に窓口を視察

と、業務の効率化、小さな行政への転換を図るため、市民福祉課市民窓口係り業務の一部民間委託について、平成26年度から検討を開始する。

平成27年度に公表・公募し、プロポーザルを実施し、平成27年9月1日から業務委託を実施する。委託期間は、平成30年8月31日までの3年間とする。

#### ◆業務委託の効果

- 安定した窓口サービスの提供
- 人件費の削減
- 市民サービスの向上
- 地元雇用の創出

#### ◆今後の課題

- 職員の窓口業務能力の維持

- 委託スタッフの窓口業務能力の維持
- 財政面での効果が少ない
- 市と民間との事務スペースの分離、職員間の意識の醸成が必要

## 研修を終えて

現在、窓口業務の民間委託を総務省は推奨しているが、5万人以上の自治体での実施が多く、小浜市のように3万人前後の行政での民間委託実施は全国的にも珍しいところである。

小浜市は、外部施設(出張所、コミュニティセンター等)がなく、各種証明等が必要な場合は、全て市役所の窓口に行かなければならない。2月から4月までの特に異動(転入、転出等)の多い繁忙期には窓口が混雑し、市民サービス向上の観点から考えると、外部施設は必要ではないかと思われる。

本市の状況から判断をする、コミュニティセンターの人件費、コンビニ発行システムの年間経費、窓口業務の一部民間委託の三点を比較し、今後の行政のスリム化の観点から検討することが必要である。

## 研修内容

(1) 平成30年7月30日(月)

## 移住・定住支援

〔宮崎県西都市〕

西都市の人口は、昭和35年の50,948人をピークに減少し、昭和50年には、一ツ瀬ダムの完成に伴う工事関係者の流出や高度経済成長期の都市部への人口流出等により37,054人まで大きく減少した。その後も人口減少は続き、平成30年現在の人口は29,594人となっている。

移住・定住等を促進するため、「空き家バンク」の充実を図り、「お試し滞在」の実施や農業新規参入への支援、住宅取得など経済的負担の軽減を図る助成事業も実施している。

## ◆移住・定住に係る主な助成事業

①若い世代・子育て世代に対する移住・定住促進支援事業

○住宅取得費・改修費の助成  
子育て世帯(世帯主またはその配偶者が40歳未満の世帯)を対象に、新築住宅建築(購入含む)、中古住宅

購入、住宅改修を行なった方に対する助成金

○賃貸住宅家賃の助成(転入者のみ)

子育て世帯もしくは新婚世帯を対象に、市内の賃貸住宅へ居住する者を対象に、家賃の一部に対する助成金(2年間)

## ②お試し滞在助成事業

○本市への移住を目的とした活動に係る宿泊費に対する助成金

## 研修を終えて

都留市においても、都留市人口ビジョン・都留市総合戦略を策定し、人口減少に歯止めをかけるべく、将来目指すべき姿の実現に向け、様々な政策を展開しているが、当研修では新たな知識の拡充・知識の再確認ができ、地方が抱える共通であろう重要課題について考える機会となった。今後の都留市の地域情勢・政策の方向性を見極めつつ、議員として魅力ある都留市を創るための知識をより一層深め、行政への意見・提言ができるよう、今後も調査・研究を進めていく必要があると考える。

## 研修内容

(2) 平成30年7月31日(火)

## 少子化対策

〔宮崎県日南市〕

近年、社会経済情勢の変化に伴う子育て世代の所得減少や社会的孤立の拡大などにより、子どもの将来がその生まれ育った環境によって左右されることのないよう、教育の機会均等を図るため、子どもの貧困対策を総合的に推進する「日南市子どもの未来応援プラン」を策定した。

## ◆現状と課題から必要とされる対策

①発見から支援につなぐ体制の整備

支援の必要な家庭や子ども

を早期に

発見し、

適切な支

援を行う

ため、相

談・訪問

事業等の

充実を図

るととも

に、地域

全体で子



日南市

②子どもの貧困対策に取り組む。  
子どもへの支援  
すべての子どもが、家庭環境や経済状況に左右されることがなく、自分の能力・可能性を最大限伸ばせるよう学習支援を行う。また、就労等により保護者が不在の家庭の子どもが、安心して過ごせる居場所づくりを推進し、基本的な学習習慣や生活習慣の定着を図る。

## ③保護者への支援

生活保護や各種手当など、世帯の生活の基盤を下支えするとともに、子育てと就業の両立など、ひとり親家庭等が抱える様々な課題に対応するため、生活支援や就業支援を充実させ、生活の安定を図る。

## 研修を終えて

今回の研修を通じて、地域の実情や子育て世帯のニーズを十分に考慮した政策執行が重要であり、少子化対策を行うことで転入者が増え、また都留市に住みつけたいと思う人が増えるような魅力ある施策に取り組んでいくことが必要であると考え



# 行政視察研修～

●総務産業建設常任委員会

●社会厚生常任委員会

## ●総務産業建設常任委員会

(1) 平成30年11月19日(月)

### 葉っぱビジネス

〔徳島県勝浦郡上勝町〕

#### 1. 世界が注目する上勝町のビジネス

「葉っぱビジネス」とは、日本料理を美しく彩る季節の葉や花、山菜などの「つまもの」を、栽培・出荷・販売する農業ビジネスのことをいう。当時、農協職員だった現在の「株式会社いろどり」の社長が、ある料亭で、女性がその葉っぱを丁寧に包んで持ち帰ったところを目撃し、ひらめいた事業である。

高齢者はパソコンやタブレットを駆使し、「上勝情報ネットワーク」から入る全国の市場情報を分析し、自らマーケティングを行い、栽培した葉っぱを全国に出荷している。この「上勝情報ネットワーク」では、自分の売り上げが何番目か、順番がわかるようになっていて、農家のやる気を出させる「ツボ」をついた情報を提供している。

うだ。

#### 2. 葉っぱビジネスと上勝町の今後の課題

町の人口はこの10年間で2割減っており、いかに移住者を増やすかが課題となっている。

だが、葉っぱビジネスは農家が所有する山で栽培したり、自生する葉や実を採ったりして成り立つものであり、移住者が土地を購入して栽培技術を習得するには年月がかかる。

そこで今後、「いろどり」(現在は、契約農家に出荷情報を提供する第三セクター)では、町が買い取った山林に商品となる



(株)いろどりでの研修。葉っぱを中心とした地域資源を軸に地域ビジネスを展開している。

桜や梅などを植え、土地を持つていない人にも栽培や収穫のノウハウを伝え、「つまもの」を栽培しない区域は林業研修にも利用し、山全体を人材育成の場とする構想を持っているとのことである。

#### 3. 考察

葉っぱビジネスが人口に多大な影響を与えているかといえなさそうでもないようである。この理由としては、雇用や住宅整備が追いついていないこともあがあるが、事業が成功するだけでは不十分であり、それが移住を希望する人にとって魅力的な仕事か、本当にやりたい仕事なのかに着目することが、人を呼ぶ上で重要なことであると感じた。

## ●社会厚生常任委員会

(1) 平成30年11月19日(月)

### ICTを活用した「大府市の授業」の構築

〔愛知県大府市〕

1. 『大府市の授業』への取り組み  
大府市では、21世紀を生きる

子どもたちに求められる力を育む教育を実現するため、ICTを活用した授業の構築に向け、全国でも一早く取り組んできた。

その中の大府市立東山小学校では、平成22年度より総務省が実施した「フューチャースクール推進事業」の実証校に選定され、4年間に渡りICTを活用した協働学習の実証研究に取り組む、この様子に強く感銘を受けた当時の市長が、「フューチャー(未来)ではなく、今すぐ必要な教育環境だ」と、平成27～28年度にかけて小学校3年生以上の児童生徒2人に1台の割合となる3,583台のタブレット端末をはじめ、大型提示装置やデジタル教科書などのICT関連機器を一斉に整備した。

#### 2. 実証研究による効果と留意点

○画像や動画を活用したわかりやすい授業により、興味・関心を高め、学習意欲が向上  
○児童生徒の学習の習熟度に応じたデジタル教材を活用し、知識・理解の定着

○電子黒板等を用いて発表・話





大府市立北山小学校でのICTを活用した授業

し合いを行うことにより、思考力や表現力が向上

○教員間のICT活用事例や教材等の情報共有、授業研究会の実施や外部講師を招いた研修による指導力の向上

○デジタル教科書・教材等を提示するだけでなく、観察・実験等の体験的な学習が必要

○ICTを活用して発音や対話の方法を学習するだけでなく、対面でのコミュニケーション活動を合わせて行うことが必要

### 3. 考察

ICTを活用した授業を取り入れる上で、本市における一番の課題は予算の確保であろう。その対策としては、国からの助成金や「ふるさと納税」に都留市学校ICT援助金（仮称）を新設するなど、財源の確保に向けた取り組みが重要である。

事前にICTを活用した教育現場での問題点や課題などを確認し、教員の意見をよく聞いたうえで、導入に向け取り組む必要があると考える。

今後の社会は、AIなどICT化が進み、子どもたちの生活も変化していく中で、本市の子どもたちが周囲との格差が生じないように取り組んでいかなければならない。

（2）平成30年11月20日（火）

## 議会改革「市民フリースピーチ制度」

～愛知県犬山市～

### 1. 犬山市議会の議会改革の取り組み

犬山市議会においては、平成29年5月、議長にアメリカ生ま



市民フリースピーチ制度の発言の場である犬山市の議場にて

れのビアンキ・アンソニー議員が就任し、データはないが恐らく初の外国出身の市議会議長となった。また、ビアンキ議長が就任してから、「前例より前進」をモットーに米国の例をもとに、市民参加の場として「市民フリースピーチ制度」を実施するなど、犬山市議会の議会改革は全国から注目されている。

### 2. 市民フリースピーチ制度の概要と課題

これは、市民が議会に対して市政への意見、要望を5分間（発言者7名まで）、発言できる制

度である。特徴として、発言者は議場で登壇し、議員の前で発言することである。

この制度の成果として、発言内容にもよるが、議会として市へ申し入れを行い、事業の見直し等について市から回答をもらうこととしている。

課題としては、応募者に偏りがあり、女性や若者が少ないことである。改善策として、女性や若者を対象としたフリースピーチ制度の開催も挙げられている。

### 3. 考察

市民フリースピーチ制度を実施することにより、各議員も様々な案件に対しての説明能力が求められる。それが議員のスキルアップとなり、その結果として議会改革にも繋がっていくと考える。

まだ実施回数も少なく、市民の反応も細部まで未検証であるが、フリースピーチで提案されたものが実現されれば定着していく、提案課題を各議員が討論する必要があるので議会の活性化には寄与すると考えられる。

# 行政視察研修～

- ◎研修地：千葉県四街道市議会
- ◎研修内容：「議会報告会について」
- ◎人口概要：人口 93,896人  
(男性47,014人 女性46,882人)  
世帯数 40,756世帯  
(平成30年11月1日現在)



## 議会報告会について

平成31年1月29日（火）

### ●四街道市

平成25年12月に、四街道市議会基本条例を制定した。これは、市民と議会との関係、議会と市長との関係、議員同士の関係を、それぞれ明らかにし、議会のさらなる活性化を図っていくために定めたもの。



市民への分かりやすい情報の提供を行う等により、市民から信頼される、開かれた議会に向けた整備を図りました。

市長との健全な緊張関係を築くために必要な整備を図りました。

議会活動の充実に必要な整備を図りました。

市民に説明責任を果たすこと及び市政の課題全般についての広報広聴活動の充実強化に努めるに当たり、議員及び市民が自由に情報及び意見を交換する議会報告会を、広報広聴活動の新たな切り口としてスタートする規定を設けた。

これは議員個々の報告ではなく議会全体で取り組むもので、議会から市民への報告と、市民と議員の意見交換など直接対話の場を定期的に持つというものの。

原則として市議会議員全員が出席し、四街道市議会全体としてテーマに沿って議会の報告を行い、その後、意見交換を行う。

### ○主催

広報広聴特別委員会。1期の議員6名と3期の議員1名の計7名で構成される。正副委員長も1期の議員が就任。

### ○市民への周知方法

委員がチラシ、ポスターを作成し、仕分けして自治会で回覧。街頭などでも配布。議会報告会のノボリ（桃太郎旗）も作成し、チラシ配布時や当日会場周辺に設置。また、各

### ○開催頻度及び参加者数

委員によりSNSなどでも発信している。  
年に1～2回。平成26年5月に第1回目を開催し、平成30年5月には第8回目を迎えた。参加者は多い時で39人、一番少ないときは8人。いずれも自発的に参加いただいている。

### ○開催方法

全体会での報告（20分）とグループ会での意見交換（90分）とで約2時間程度。全議員がグループ会での役割を担って運営に参画し、司会進行、受



四街道市での研修  
戸田議長、西塚広報広聴特別委員長と委員の皆さま



四街道市議会報告会の全体会での報告



全体会後のグループ会での意見交換会

付、記録の係りは広報広聴特別委員会に対応している。グループ会は、会派、常任委員会が偏らないように議員を配置して、その中で司会進行、記録を担当することとしている。

○市民へのフィードバック  
議会だよりに掲載報告を掲載している。原稿は広報広聴特別委員会の委員がICレコーダーから書き起こして作成。

## 成果と課題

○少人数のグループ会で「市議会議員と直接話せてよかった」との声をいただいた。

○議員が議会報告会のチラシ配布を行っているのを多くの市民が目にして、高い評価をいただけた。

○参加者数の減少と固定化。

○市民からの意見をどのように市政に反映していけるのか。

## 考察

また、その進捗状況をどのような形で報告していくか。

四街道市議会では、本市とほぼ同時期の平成25年に議会基本条例を策定し、平成26年度からこの議会報告会を開催している。報告会を担当しているのは、期の若い議員の皆さんであるが、志が高く、開かれた議会を目指し、熱い思いを持って取り組まれている事がひしひしと感じられた研修であった。様々な課題はあるが、西塚委員長の「おっしゃる「試行錯誤しながら私たちは、開かれた議会を追及するための行動を起こす」ということが、やはり大事だと思う」という言葉が印象的であった。

本市では、議会基本条例を制定し6年目を迎えるが、これまでの検証を行うとともに、議会活動が決して後退することなく、より前へ進めていくためにも、幅広く市民の意見を聴取する仕組みづくりが必要であると改めて感じた研修であった。

山梨県市議会議長会  
合同研修会

2月5日(火)、アピオ甲府において山梨県市議会議長会合同研修会(後期)が開催されました。

当日は、【自治体議会改革】と題し、三重県地方自治研究センターの上席研究員 高沖秀宣氏により講演がありました。



山梨県市議会議長会合同研修会(後期)



## 議会日誌

### 4月

- 1日(日) 都留市健康ジムオープン記念式典
- 2日(月) 年度始め式
- 4日(水) 都留文科大学入学式
- 5日(木) 議会だより編集委員会(第1回)  
議会改革特別委員会  
リニア建設特別委員会
- 8日(日) 第45回ソフトボール大会
- 9日(月) 南都留合同庁舎起工式
- 11日(水) 山梨県市議会議長会正副会長・事務局長会議
- 16日(月) 韮崎市議会行政視察
- 17日(火) 香川県さぬき市議会行政視察
- 18日(水) 議会だより編集委員会(第2回)  
校長会・教頭会合同歓送迎会  
第55回都留市保育所連合会定期総会
- 20日(金) 第259回山梨県市議会議長会定期総会
- 24日(火) 第84回関東市議会議長会定期総会・第2回理事会
- 26日(木) 市町村長及び市町村議会議長会議
- 29日(日) 都留市制64周年記念式典



- 18日(金) 「首都圏都留市会」第2回役員会
- 19日(土) 都留市中央公民館合同開級式  
都留機械金属工業協同組合第47回通常総会
- 23日(水) 都留市商工会第57回通常総代会
- 24日(木) 都留市文化協会定期総会
- 25日(金) 平成30年度都留市民生委員児童委員協議会定期総会
- 26日(土) 第25回都留市ふれあい全国俳句大会
- 29日(火) 都留道志線道坂トンネル建設期成同盟会定期総会
- 30日(水) 全国市議会議長会第94回定期総会
- 31日(木) 都留市老人クラブ連合会定期総会

### 6月

- 1日(金) 青少年育成都留市民会議定期総会
- 4日(月) ◎議会運営委員会  
◎全員協議会
- 7日(木) ◎6月定例会 開会
- 9日(土) 富士山直轄砂防事業山梨県着手式  
富士山火災噴火対策砂防事業促進期成同盟会総会
- 18日(月) ◎一般質問
- 20日(水) ◎総務産業建設常任委員会  
◎社会厚生常任委員会
- 22日(金) ◎議会運営委員会  
◎全員協議会  
◎6月定例会 閉会
- 29日(金) 議会報告会(上谷)  
議会報告会(中谷)
- 30日(土) 第50回都留市体育祭り  
議会報告会(下谷)



### 5月

- 9日(水) リニア中央新幹線建設促進山梨県期成同盟会総会
- 11日(金) 都留市はつらつ鶴寿大学入学式
- 12日(土) 山梨県緑化祭り
- 16日(水) 議会改革特別委員会
- 17日(木) 都留市体育協会定期総会



## 議会日誌

### 7月

- 4日(水) 議会だより編集委員会(第1回)
- 6日(金) 都留市職員組合第65回定期大会
- 18日(水) 議会だより編集委員会(第2回)
- 22日(日) 議会報告会(宝)
- 23日(月) 山梨県東部広域連合議会7月定例会
- 25日(水) 大月都留広域事務組合議会7月定例会  
都留市学校規模等適正化準備会
- 27日(金) 埼玉県秩父市議会行政視察研修
- 30日(月) 都留市議会議員行政視察研修(~8/1)



- 21日(火) 公立大学法人都留文科大学と都留市議会との意見交換会
- 22日(水) 山梨県東部広域連合議会議員研修会
- 26日(日) 第86回都留市町別野球大会閉会式
- 28日(火) ◎議会運営委員会/◎全員協議会
- 29日(水) 山梨県市議会議長会議長・事務局長会議
- 30日(木) ◎9月定例会 開会
- 31日(金) 第36回ふるさと時代祭り宵祭り

### 9月

- 10日(月) ◎一般質問
- 12日(水) ◎総務産業建設常任委員会  
◎社会厚生常任委員会
- 13日(木) ◎決算特別委員会
- 14日(金) ◎決算特別委員会
- 18日(火) ◎決算特別委員会
- 21日(金) ◎議会運営委員会/◎全員協議会  
◎9月定例会 閉会  
議会改革特別委員会
- 28日(金) 都留市セーフコミュニティ推進協議会委員委嘱式並びに第1回推進協議会
- 30日(日) 第21回都留市いきいきフェスティバル2018式典



### 8月

- 2日(木) 議会報告会(三吉)
- 3日(金) 平成30年度山梨県高速道路整備促進期成同盟会通常総会  
議会報告会(開地)  
議会報告会(禾生)
- 4日(土) 議会報告会(盛里)
- 5日(日) 第86回都留市町別野球大会開会式
- 6日(月) 議会報告会(東桂)
- 10日(金) 山梨県市議会議長会議員合同研修会(前期)



## 議会日誌



### 10月

- 3日(水) 議会だより編集委員会(第1回)
- 9日(火) 山梨県東部広域連合議会議員視察研修(～10日)
- 12日(金) 山梨県市議会議長会正副会長・事務局長会議
- 14日(日) 第43回都留市消防団員総合訓練大会
- 17日(水) 大月都留広域事務組合議会議員視察研修(～18日)
- 19日(金) 第260回山梨県市議会議長会定期総会
- 21日(日) 第40回都留市合唱祭
- 22日(月) 山梨県後期高齢者医療広域連合議会定例会  
議会だより編集委員会(第2回)
- 26日(金) 全員協議会  
第1回政治倫理審査会
- 30日(火) 第2回政治倫理審査会

### 11月

- 2日(金) 第3回政治倫理審査会  
山梨県体育功労者賞受賞祝賀会
- 3日(土) 都留市文化祭式典並びに表彰式
- 5日(月) 大月都留広域事務組合議会11月定例会
- 6日(火) 第4回政治倫理審査会
- 8日(木) 都留市学校規模適正化準備会



- 12日(月) 第5回政治倫理審査会
- 16日(金) 第6回政治倫理審査会  
都留市青少年健全育成推進大会
- 18日(日) 第3回リニアと翔る都留ロードレース大会
- 21日(水) 第7回政治倫理審査会
- 26日(月) 山梨県東部広域連合議会11月定例会
- 30日(金) 第8回政治倫理審査会  
平成30年度都留市戦没者慰霊祭

### 12月

- 4日(火) ◎議会運営委員会／◎全員協議会  
第9回政治倫理審査会
- 6日(木) ◎議会運営委員会／◎全員協議会  
◎12月定例会 開会  
第10回政治倫理審査会  
第11回政治倫理審査会  
第12回政治倫理審査会
- 10日(月)
- 13日(木)
- 17日(月) ◎一般質問
- 19日(水) ◎総務産業建設常任委員会  
◎社会厚生常任委員会
- 21日(金) ◎議会運営委員会／◎全員協議会  
◎12月定例会 閉会
- 28日(金) 仕事納め式



## 議会日誌

### 1月

- 4日(金) 仕事始め式/新年互礼会
- 6日(日) 平成31年都留市消防団出初式
- 8日(火) 全員協議会  
議会運営委員会  
議会だより編集委員会(第1回)
- 11日(金) 都留市民生委員推薦会
- 13日(日) 都留市成人式式典
- 17日(木) 第2回政治倫理審査会  
都留市経営者連絡協議会 新春賀詞交歓会
- 18日(金) 都留市校長会・教頭会新年互礼会
- 20日(日) 第17回市民俳句かるた大会
- 21日(月) 議会だより編集委員会(第2回)
- 24日(木) 民生委員・児童委員協議会新年互例会
- 29日(火) 四万十市議会行政視察研修  
都留市議会運営委員会視察研修(～30日)

### 2月

- 4日(月) 第3回政治倫理審査会
- 5日(火) 山梨県市議会議長会議員合同研修会(後期)  
第34回山梨県市町村自治講演会
- 10日(日) 都留市道志会新年会
- 17日(日) 公民館合同閉級式並びに公民館まつり
- 18日(月) 大月都留広域事務組合議会2月定例会



- 20日(水) 東部地域高齢者作品展  
山梨県後期高齢者医療広域連合議会定例会
- 22日(金) 第37回都留市社会福祉大会
- 23日(土) 第21回都留市男女共同参画推進フェスティバル
- 26日(火) ◎議会運営委員会／◎全員協議会
- 28日(木) ◎3月定例会 開会

### 3月

- 1日(金) 第38回ふるさと祭りおさらい会
- 5日(火) 山梨県東部広域連合議会2月定例会
- 9日(土) 都留市はつらつ鶴寿大学卒業式並びに修了式
- 11日(月) ◎一般質問
- 13日(水) ◎総務産業建設常任委員会  
◎社会厚生常任委員会
- 14日(木) ◎予算特別委員会
- 15日(金) ◎予算特別委員会
- 18日(月) ◎予算特別委員会
- 20日(水) ◎議会運営委員会  
◎全員協議会  
◎3月定例会 閉会
- 22日(金) 都留市学校規模等適正化準備会  
都留文科大学卒業式・学位授与式
- 28日(木) 三吉地区学童保育施設竣工式  
議会だより編集委員会(第1回)

